

国立大学法人北海道大学における障害を理由とする差別の解消の推進 に関する教職員対応要領に基づく留意事項

平成28年4月1日

総 長 裁 定

障害を理由とする差別の解消の推進に関する教職員対応要領第7条第2項及び第8条第3項に定める留意事項は、以下のとおりとする。

第1 不当な差別的取扱いに関する例（第7条関係）

対応要領第4条第1項及び第2項のとおり、不当な差別的取扱いに相当するか否かについては、個別の事案ごとに判断されることとなるが、正当な理由がなく、不当な差別的取扱いに該当すると考えられる例及び正当な理由があるため、不当な差別的取扱いに該当しないと考えられる例は、次のとおりである。

なお、ここに記載する内容はあくまでも例示であり、これらの例だけに限られるものではないこと、正当な理由があり不当な差別的取扱いに該当しない場合であっても、合理的配慮の提供を求められる場合には別途の検討が必要であることに留意すること。

（正当な理由がなく、不当な差別的取扱いに該当すると考えられる例）

- 障害があることを理由に受験を拒否すること
- 障害があることを理由に入学を拒否すること
- 障害があることを理由に授業受講を拒否すること
- 障害があることを理由に研究指導を拒否すること
- 障害があることを理由に実習、研修、フィールドワーク等への参加を拒否すること
- 障害があることを理由に事務窓口等での対応順序を劣後させること
- 障害があることを理由に式典、行事、説明会、シンポジウムへの出席を拒否すること
- 障害があることを理由に学生寮への入居を拒否すること
- 障害があることを理由に学部への進級や研究室への配属を拒否すること
- 障害があることを理由に施設等の利用やサービスの提供を拒否すること
- 判断・理解能力等の程度を確認することなく、精神障害者（発達障害者を含む）は一律に判断・理解能力に欠ける等として対応を拒否すること
- 運動能力の程度を確認することなく、四肢に障害がある者は一律に運動能力に欠ける等として体育授業や研修、講習、会議、実習、イベントへの参加を受け付けないこと
- 介助者、支援者の同伴があれば授業や行事等に参加が可能となるにもかかわらず、その同伴を認めないこと
- 軽度の障害であることが明白であり、教員や周囲の学生による簡単な配慮で授業受講が可能で、本人も介助は不要と申請しているにもかかわらず、介助者をともなって参加することを条件付けること
- 手話通訳、ノートテイク、パソコンノートテイクなどの情報保障手段を用意できないからという

理由で、障害者である学生等の授業受講や研修、講習、実習等への参加を拒否すること

- 試験等において、合理的配慮を受けたことを理由に評価に差をつけること
- 障害の種類や程度、サービス提供の場面における本人や第三者の安全性などについて考慮することなく、一律にあるいは漠然とした安全上の問題を理由に学内の施設利用を拒否又は制限すること

(正当な理由があるため、不当な差別的取扱いに該当しないと考えられる例)

- 学内手続きを行うため、障害者本人に同行した者が代筆しようとした際に、必要な範囲で、プライバシーに配慮しつつ、障害者本人に対し障害の状況や本人の手続きの意思等を確認すること
- 実習において、アレルギーとなる材料を使用するなど、実習に必要な作業の遂行上具体的な危険の発生が見込まれる障害者に対し、アレルギーとならない材料に代替し、別の部屋で実習を設定すること

第2 合理的配慮に関する例（第8条関係）

合理的配慮は、不特定多数の障害者等の利用を想定して事前に行われる建築物のバリアフリー化、必要な人材の配置、情報アクセシビリティの向上等の環境の整備を基礎として、個々の障害者に対して、その状況に応じて個別に実施される措置である。その内容は、対応要領第4条第3項及び第4項のとおり、障害の特性や社会的障壁の除去が求められる具体的状況等に応じて異なり、多様かつ個別性が高いものであり、当該障害者が現に置かれている状況を踏まえ、社会的障壁の除去のための手段及び方法について、必要かつ合理的な範囲で、柔軟に対応する必要があるが、例としては、次に掲げるとおりである。

なお、これらの例はあくまでも例示であり、ここに記載する例以外であっても合理的配慮に該当するものがあること、また、個別の事案ごとに判断することが必要であることに留意すること。

(合理的配慮に当たり得る物理的環境への配慮の例)

- 車椅子利用者のためにキャスター上げ等の補助をし、又は段差に携帯スロープを渡すこと
- 図書館やコンピュータ室、実験・実習室、学生寮等の施設・設備を、他の学生等と同様に利用できるように改善すること
- 移動に困難のある学生等のために、普段よく利用する教室に近い位置に駐車場を確保すること
- 移動に困難のある学生等や車椅子利用者が段差を越えられない場合（積雪によるものを含む）に、段差を乗り越えるための補助（介助又は除雪）を行うこと
- 書架や配架棚の高い所に置かれた図書やパンフレット等を取って渡したり、図書やパンフレット等の位置を分かりやすく伝えたりすること
- 障害特性により、授業中、頻回に離席の必要がある学生等について、座席位置を出入口の付近に確保すること
- 移動に困難のある学生等が参加している授業で、使用する教室をアクセスしやすい場所に変更すること
- 易疲労状態の障害者からの別室での休憩の申出に対し、休憩室の確保に努めるとともに、休憩室の確保が困難な場合、教室内に長椅子を置いて臨時的休憩スペースを設けること

- 視覚障害者からトイレの個室を案内するよう求めがあった場合に、求めに応じてトイレの個室を案内すること、その際、同性の教職員がいる場合は、障害者本人の希望に応じて同性の職員が案内すること

(合理的配慮に当たり得る意思疎通の配慮の例)

- 授業や実習、研修、行事等の様々な機会において、手話通訳、ノートテイク、パソコンノートテイク、補聴システムなどの情報保障を行うこと
- ことばの聞き取りや理解・発声・発語等に困難を示す学生等のために、必要なコミュニケーション上の配慮を行うこと
- シラバスや教科書・教材等の印刷物にアクセスできるよう、学生等の要望に応じて電子ファイルや点字・拡大資料等を提供すること
- 聞き取りに困難のある学生等が受講している授業で、ビデオ等の視聴覚教材に字幕を付与して用いること
- 授業中教員が使用する資料を事前に提供し、事前に一読したり、読みやすい形式に変換したりする時間を与えること
- 事務手続きの際に、教職員や支援学生が必要書類の代筆を行うこと
- 障害者である学生等で、視覚情報が優位な者に対し、授業内での指示や事務的な手続き・申請の手順を文字やイラスト等で視覚的に明示し、わかりやすく伝えること
- 間接的・抽象的な表現が伝わりにくい場合に、より直接的・論理的な表現を使って説明すること
- 授業中のディスカッションに参加しにくい場合に、発言しやすいような配慮をしたり、テキストベースでの意見表明を認めたりすること
- 入学試験や定期試験において注意事項や指示を、口頭で伝えるだけでなく文書や黒板に書いて示すなど、視覚的な情報として伝達すること

(ルール・慣行の柔軟な変更の例)

- 入学試験や定期試験において、個々の学生等の障害特性に応じて、試験時間を延長したり、別室受験や支援機器の利用、点字や拡大文字の使用、休憩時間の調整等を認めたりすること
- 入学試験や定期試験において、発声・発話・書字等アウトプットに困難を示す学生等のために、障害特性に応じて、解答用紙の変更や他の代替方法など必要な配慮を行うこと
- 成績評価において、本来の教育目標と照らし合わせ、公平性を損なわない範囲で柔軟な評価方法を検討すること
- 外部の人々の立ち入りを禁止している施設等において、介助者等の立ち入りを認めること
- 大学行事や講演、講習、研修等において、適宜休憩を取ることを認めたり、休憩時間を延長したりすること
- 移動に困難のある学生等に配慮し、車両乗降場所を教室の出入り口に近い場所へ変更すること
- 教育実習等の学外実習において、合理的配慮の提供が可能な機関での実習を認めること
- 教育実習、病棟実習等の実習授業において、事前に実習施設の見学を行うことや、通常よりも詳しいマニュアルを提供すること

- 外国語のリスニングが難しい学生等について、リスニングが必須となる授業を他の形態の授業に代替すること
- 実験・実習等において、障害の特性により指示の伝達や作業の補助等が必要となる場合に、特別にティーチング・アシスタント等を配置すること
- ICレコーダー等を用いた授業の録音を認めること
- 授業中、ノートを取ることが難しい学生等に、板書を写真撮影することを認めること
- 不随意運動等により特定の作業が難しい学生等に対し、教職員や支援学生を配置して作業の補助を行うこと
- 感覚過敏等がある学生等に、サングラス、イヤーマフ、ノイズキャンセリングヘッドフォン等の着用を認めること
- 体調が悪くなるなどして、レポート等の提出期限に間に合わない可能性が高いときに、期限の延長を認めること
- 教室内で、講師や板書・スクリーン等に近い席を確保すること
- 履修登録の際、履修制限のかかる可能性のある選択科目において、機能障害による制約を受けにくい授業を確実に履修できるようにすること
- 入学時のガイダンス等が集中する時期に、必要書類やスケジュールの確認などを個別に行うこと
- 病気療養等で学習空白が生じる学生等に対し、ICTを活用した学習活動や補講を行う等、学習機会を確保できる方法を工夫すること
- 授業出席に介助者が必要な場合には、介助者が授業の受講生でなくとも入室を認めること
- 視覚障害や肢体不自由のある学生等の求めに応じて、事務窓口での同行の介助者の代筆による手続きを認めること

また、合理的配慮の提供義務違反に該当すると考えられる例及び該当しないと考えられる例としては、次のようなものがある。なお、記載されている内容はあくまでも例示であり、合理的配慮の提供義務違反に該当するか否かについては、個別の事案ごとに判断することが必要であることに留意する。

(合理的配慮の提供義務違反に該当すると考えられる例)

- 入学試験や定期試験等において、筆記が困難なためデジタル機器の使用を求める申出があった場合に、デジタル機器の持込みを認めた前例がないことを理由に、必要な調整を行うことなく一律に対応を断ること
- 自由席で開講している授業において、弱視の学生等からスクリーンや板書等がよく見える席での受講を希望する申出があった場合に、事前の座席確保などの対応を検討せず、一律に「特別扱いはできない」という理由で対応を断ること
- 視覚障害者が、点字ブロックの無いイベント会場内の移動に必要な支援を求める場合に、「何かあったら困る」という抽象的な理由で具体的な支援の可能性を検討せず、参加や支援を断ること

- 学生等が、支援者と共に更衣室を利用することを希望した場合に、空いている教室など代替施設を検討することなく、設備がないという理由で対応を断ること

(合理的配慮の提供義務に反しないと考えられる例)

- オンライン授業の配信のみを行っている場合に、オンラインでの集団受講では内容の理解が難しいことを理由に対面での個別指導を求められた際、字幕や音声文字変換システムの利用など代替措置を検討したうえで、対面での個別指導を可能とする人的体制・設備を有していないことを理由に、当該対応を断ること
- 図書館等において、混雑時に視覚障害者から職員等に対し、館内を付き添って利用の補助を求められた場合に、混雑時のため付添いはできないが、職員が聞き取った書籍等を準備することができる旨を提案すること
- 発達障害等の特性のある学生から、得意科目で習得した単位を不得意な科目の単位として認定してほしい(卒業要件を変更して単位認定をしてほしい)と要望された場合、不得意科目における環境調整や受講方法の調整などの支援策を提示しつつ、卒業要件を変更しての単位認定は、本学におけるディプロマ・ポリシーに照らし、教育の目的・内容・機能の本質的な変更にあたることから、当該対応を断ること

さらに、環境の整備は、不特定多数の障害者向けに事前的改善措置を行うものであるが、合理的配慮は、環境の整備を基礎として、その実施に伴う負担が過重でない場合に、特定の障害者に対して個別の状況に応じて講じられる措置である。したがって、各場面における環境の整備の状況により、合理的配慮の内容は異なることとなる。合理的配慮の提供と環境の整備の関係に係る例は、次のとおりである。

(合理的配慮の提供と環境の整備の関係に係る例)

- 障害者差別解消の推進を図るための教職員への学内研修を実施(環境の整備)するとともに、教職員が、学生一人一人の障害の状態等に応じた配慮を行うこと(合理的配慮)
- エレベーターの設置といった学内施設のバリアフリー化を進める(環境の整備)とともに、肢体不自由のある学生等が、実験室等で実験実施の補助を必要とした際に、その補助を行うティーチングアシスタント等を提供すること(合理的配慮)
- 障害者から申込書類への代筆を求められた場合に円滑に対応できるように、あらかじめ申込手続における適切な代筆の仕方について研修を行う(環境の整備)とともに、障害者から代筆を求められた場合には、研修内容を踏まえ、本人の意向を確認しながら担当者が代筆すること(合理的配慮)
- オンラインでの申込手続が必要な場合に、手続を行うためのウェブサイトが障害者にとって利用しづらいものとなっていることから、手続に際しての支援を求める申出があった場合に、求めに応じて電話や電子メールでの対応を行う(合理的配慮)とともに、以後、障害者がオンライン申込みの際に不便を感じることをないよう、ウェブサイトの改良を行うこと(環境の整備)
- 講演会等で、情報保障の観点から、手話通訳者を配置したり、スクリーンへ文字情報を提示し

たりする（環境の整備）とともに、申出があった際に、手話通訳者や文字情報が見えやすい位置に座席を設定すること（合理的配慮）

附 則

この留意事項は、平成 28 年 4 月 1 日から実施する。

附 則

この留意事項は、令和 6 年 4 月 1 日から実施する。

National University Corporation Hokkaido University Considerations regarding the Guidelines for Faculty and Staff Members on Promoting the Elimination of Discrimination against Persons with Disabilities

April 1, 2016

Enacted by the President

These considerations stipulated in Article 7, paragraph 2, and Article 8, paragraph 3, on the Guidelines for Faculty and Staff Members on Promoting the Elimination of Discrimination against Persons with Disabilities, are as follows:

1. Examples of Unfair and Discriminatory Treatment (related to Article 7).

As stated in Article 4, paragraphs 1 and 2 of the Guidelines, whether or not a case constitutes unfair and discriminatory treatment will be determined on a case-by-case basis. The following are examples deemed to fall under unfair and discriminatory treatment without justifiable reasons, and examples deemed not to fall under unfair and discriminatory treatment due to justifiable reasons.

It should be noted that the contents described here are examples only, and are not limited to these examples. Even in cases where there are justifiable reasons and the treatment does not constitute unfair and discriminatory treatment, separate consideration should be given when reasonable accommodation is requested.

(Examples deemed to fall under unfair and discriminatory treatment without justifiable reasons.)

- Refusing to allow students to take an entrance examination on the grounds of disability.
- Refusing admission to the University on the grounds of disability.
- Refusing to allow students to take a class on the grounds of disability.
- Refusing research guidance on the grounds of disability.
- Refusing to allow students to participate in practical training, training sessions, fieldwork, etc. on the grounds of disability.
- Delaying the order of response at the University's administrative office on the grounds of disability.
- Refusing to allow students to attend ceremonies, events, briefing sessions, or symposiums on the grounds of disability.
- Refusing to allow students to move into a student dormitory on the grounds of disability.
- Refusing to allow students to advance to an undergraduate course or to be assigned to a laboratory on the grounds of disability.
- Refusing to allow students to use facilities or provide services on the grounds of disability.
- Refusing to respond to students with mental disabilities (including those with developmental

disabilities) uniformly on the grounds that they lack the capacity for judgment and understanding, without confirming the degree of their capacity for judgment and understanding.

- Not accepting students with limb disabilities to participate in physical education classes, training sessions, courses, meetings, practical training, or events, without confirming the degree of their motor abilities, assuming that they lack motor abilities uniformly.
- Refusing to allow the accompaniment of a caregiver or support person even though their presence would allow the student to participate in classes and events.
- Requiring students to attend classes with a caregiver, despite the clear indication of a mild disability and the ability to attend classes with simple consideration from faculty members and other students, and that the student has indicated a caregiver is not necessary.
- Refusing to allow students with disabilities to attend classes, training sessions, courses, or practical training on the grounds that sign language interpretation, note-taking, computer-based note-taking, or other means of guaranteeing information cannot be provided.
- Making a difference in evaluation on the basis of having received reasonable accommodation in examinations.
- Refusing or restricting the use of campus facilities uniformly or based on vague safety issues, without consideration of the type or degree of disability or the safety of the student or third parties in the situation of service provision.

(Examples deemed not to fall under unfair and discriminatory treatment due to justifiable reasons.)

- Confirming the disability status and the student's intention regarding procedures while accommodating privacy concerns to the extent necessary when a person accompanying the student with disabilities attempts to write on their behalf during on-campus procedures.
- Providing alternative materials that do not trigger allergies, and setting up practical training in a different room for students with disabilities who are expected to encounter specific risks while carrying out tasks necessary for practical training, such as using allergenic materials.

2. Examples of Reasonable Accommodation (related to Article 8).

Reasonable accommodation is a measure implemented individually for each person with disabilities according to their situation, based on the improvement of the environment, such as barrier-free construction of buildings, allocation of necessary human resources, and improvement of information accessibility, etc., which are implemented in advance in anticipation of use by an unspecified number of persons with disabilities. As stated in paragraphs 3 and 4 of Article 4 of the Guidelines, the contents of such measures are diverse and highly individualized, differing according to the characteristics of the disability and the specific circumstances in which the removal of social barriers is required. Therefore, it is necessary to be flexible in the means and methods for the removal of social barriers to the extent necessary and reasonable, based on the current situation of such persons with disabilities. Examples of such measures and methods are as follows:

It should be noted that these cases are examples only, that there are cases other than the contents described here that may constitute reasonable accommodations, and that it is necessary to determine each case individually.

(Examples of considerations for physical environments that may constitute reasonable accommodations.)

- Assisting wheelchair users by raising casters or providing portable ramps over steps.
- Improving facilities and equipment such as libraries, computer rooms, laboratories, and student dormitories so that they can be used in the same manner as other students.
- Securing parking lots for students with mobility difficulties, close to the classrooms that they frequently use.
- Providing support (assistance or snow removal) to students with mobility difficulties or wheelchair users if they are unable to climb over steps (including those caused by snow accumulation).
- Taking books, pamphlets, etc. placed on high shelves or distribution shelves and handing them over, or informing them of the location of books or pamphlets in an easy-to-understand manner.
- Securing the seats close to exits for students who need to leave their seats frequently during class due to the nature of their disabilities.
- Changing the classroom to an accessible location for the classes attended by students with mobility difficulties.
- Making every effort to secure a resting room for easily fatigued students with disabilities upon request, and if securing a resting room is difficult, temporary rest spaces will be provided by placing couches in the classroom.
- Guiding a visually impaired student to a private restroom upon request, in such cases, if a faculty and staff member of the same sex is present, they will guide the visually impaired student if requested to do so.

(Examples of considerations for effective communication that may constitute reasonable accommodations.)

- Providing information guarantees such as sign language interpretation, note-taking, computer-based note-taking, and hearing aid systems at various opportunities such as classes, practical training, training sessions, and events.
- Providing the necessary communication considerations for students who have difficulties with listening comprehension, vocalizing, or producing speech.
- Providing electronic files, Braille, or enlarged materials, at the request of students, to ensure access to printed materials such as syllabuses, textbooks, and learning materials.
- Adding subtitles to audiovisual materials such as videos and using them in classes attended by students with hearing difficulties.

- Providing materials to be used by the faculty member in class in advance and allowing time to read through them or convert them to a more readable format before the class.
- Filling out necessary documents by a faculty and staff member or a student supporter on behalf of a student during administrative procedures.
- Providing instructions during class, administrative procedures and application instructions visually, using text, illustrations, etc. to convey the meaning clearly to students with disabilities, particularly those who rely on visual information.
- Explaining using more direct and logical expressions when indirect and abstract expressions are difficult for conveying the meaning.
- Making it easier for students to speak up when they have difficulty participating in class discussions or allowing them to express their opinions on a text-based basis.
- Giving precautions and instructions in entrance examinations or regular examinations as visual information, not only verbally but also showing them in writing or on the blackboard.

(Examples of flexible changes to rules and practices.)

- Allowing such as extended examination time, separate room testing, use of support devices, Braille or enlarged text, and adjustment of break times, based on the individual disabilities of each student, during entrance examinations or regular examinations.
- Providing necessary considerations, such as modifying answer sheets or employing alternative methods, based on the disabilities of students who have difficulties with vocalizing, speaking, or writing output during entrance examinations or regular examinations.
- Considering flexible evaluation methods within the scope of not compromising fairness, in light of the original educational goals when evaluating grades.
- Allowing caregivers to enter facilities where entry is prohibited to outsiders.
- Allowing appropriate breaks or extending breaks at University events, lectures, courses, and training sessions.
- Changing the vehicle boarding and alighting points to locations closer to classroom entrances in consideration of students with mobility difficulties.
- Allowing practical training at institutions where reasonable accommodations can be provided during off-campus training such as teaching practice.
- Providing tours of training facilities in advance or more detailed manuals than usual of teaching practice, hospital ward training, and other practical training classes.
- Substituting classes that require listening with other forms of class for students who have difficulty listening to a foreign language.
- Specially assigning a teaching assistant to experiments or practical training, if conveying instructions or assisting with tasks, if required due to the characteristics of disabilities.
- Allowing the recording of classes using devices such as IC recorders.
- Allowing students who find it difficult to take notes during class to take photographs of the writing on the board.

- Assisting students who have difficulty performing certain tasks due to involuntary movements by assigning a faculty and staff member or a student supporter to assist with the task.
- Allowing students with sensory sensitivity to wear sunglasses, earmuffs, noise-cancelling headphones, and similar items.
- Granting extensions of deadlines when it is highly likely that a student will not be able to meet the deadline for submitting reports due to ill health.
- Securing a seat in the classroom close to the lecturer, board writing, and screen.
- Ensuring that students can reliably take classes that are less likely to be constrained by functional disabilities in elective courses that may have enrollment limits when registering for courses.
- Conducting individual confirmations of necessary documents and schedules during the period when guidance at the time of admission is concentrated.
- Securing study opportunities for students absent from their studies due to medical treatment, by providing ICT-based learning activities and make-up lectures.
- Allowing a caregiver to enter the classroom even if they are not registered on the course if a caregiver is required for a student's class attendance.
- Allowing students with visual impairments or physical disabilities upon request, to complete procedures at the University's administrative office with an accompanying caregiver writing on their behalf.

In addition, examples of what may and may not constitute a breach of the duty to provide reasonable accommodation include the following. It should be noted that the contents described here are examples only, and it is necessary to determine each case individually as to whether or not it constitutes a breach of the duty to provide reasonable accommodation.

(Examples of what may constitute a breach of the duty to provide reasonable accommodation.)

- Refusing uniformly to accommodate a request for the use of digital devices during entrance examinations or regular examinations due to difficulty with writing, citing the lack of precedent for allowing the use of digital devices, and without making any necessary adjustments.
- Refusing to accommodate with pre-arranged seating when a request is made by a student with low vision to sit in a seat where the screen or board writing is clearly visible in classes held with open seating arrangements, and instead, uniformly denying the request citing "special treatment is not possible".
- Refusing to participate or provide assistance to a visually impaired student who requests assistance in moving around an event venue that does not have Braille blocks, without considering the possibility of specific assistance, on the abstract grounds that "something could go wrong".
- Refusing to accommodate students who wish to use a changing room with a support person, citing lack of facilities, without considering alternative facilities such as available classrooms.

(Examples of what may not constitute a breach of the duty to provide reasonable accommodation.)

- Refusing the request, citing the lack of personnel and facilities to enable face-to-face tutoring, after considering alternative measures such as the use of subtitles or speech-to-text conversion systems, in the case of only online classes, when face-to-face tutoring is requested since it is difficult to understand the content in online group classes.
- Proposing that staff members can prepare books, etc. that they have asked for, although escorts are not available due to congestion in libraries when a visually impaired student requests a staff member to escort them inside the library to assist them during the busy time.
- Refusing the request by students with developmental disabilities for credits acquired in a subject in which they excel to be approved as credits for a subject in which they do not excel (wish to change the graduation requirements to approve the credits), while offering supportive measures such as adjusting the environment and course methods in the subject in which they do not excel. However, the University must decline the request, because the approval of credits by changing graduation requirements constitutes an essential change in the purpose, content, and function of education, considering the Diploma Policy of the University.

Furthermore, while the improvement of the environment is a preliminary improvement measure for an unspecified number of persons with disabilities, reasonable accommodation is a measure taken for specific persons with disabilities according to their circumstances, based on the improvement of the environment, when the burden involved in its implementation is not excessive. Therefore, the content of reasonable accommodation will differ depending on the state of improvement of the environment in each situation. Examples of the relationship between the provision of reasonable accommodation and the maintenance of the environment are as follows:

(Examples related to the relationship between the provision of reasonable accommodation and the improvement of the environment.)

- Conducting on-campus training for faculty and staff members to promote eliminating discrimination against students with disabilities (improvement of the environment), and ensuring that faculty and staff members consider each student according to their disability status. (reasonable accommodation).
- Promoting barrier-free facilities on campus, such as the installation of elevators (improvement of the environment), and providing teaching assistants to assist students with physical disabilities when they need assistance in conducting experiments in laboratories. (reasonable accommodation).
- Conducting training in advance on how to appropriately write on behalf of a student with disabilities on an application form to smoothly handle requests for writing during the application process (improvement of the environment), while confirming their wishes, based on the training content, when a student with disabilities requests a staff member to write on their behalf, the staff

member in charge should do so (reasonable accommodation).

- Providing assistance by telephone or email upon request when students with disabilities find it difficult to use the website for online procedures if an online application procedure is required (reasonable accommodation), and subsequently, improving the website to ensure that students with disabilities do not encounter inconvenience when applying online (improvement of the environment).
- Assigning sign language interpreters or presenting text information on screens at lectures for information accessibility (environmental improvement), along with setting seats in easily visible positions for sign language interpreters or text information upon request. (reasonable accommodation).

Supplementary Provisions

These considerations shall come into force as of April 1, 2016.

Supplementary Provisions

These Considerations shall come into force as of April 1, 2024.